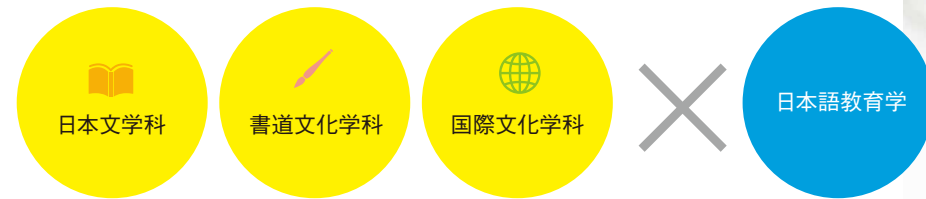


「文学部3学科の専門分野×日本語教育学」で
ハイレベルな日本語教員を養成



四国大学文学部には3つの学科(日本文学科・書道文化学科・国際文化学科)が設置されており、それぞれの学科で専門を学びながら、「外国語としての日本語」を教えるために必要な専門知識や技術を習得できる「日本語教員養成課程」を、2020年4月に開設しました。

日本語を教える場所がどこであっても、言語や文化が違って、相手と同じ目線に立ってコミュニケーションすることを大切に、そのような「目の前の学習者ひとりひとりに寄り添う」ことができる日本語教員を養成することを目指します。



世界中でニーズが高まっている日本語教員

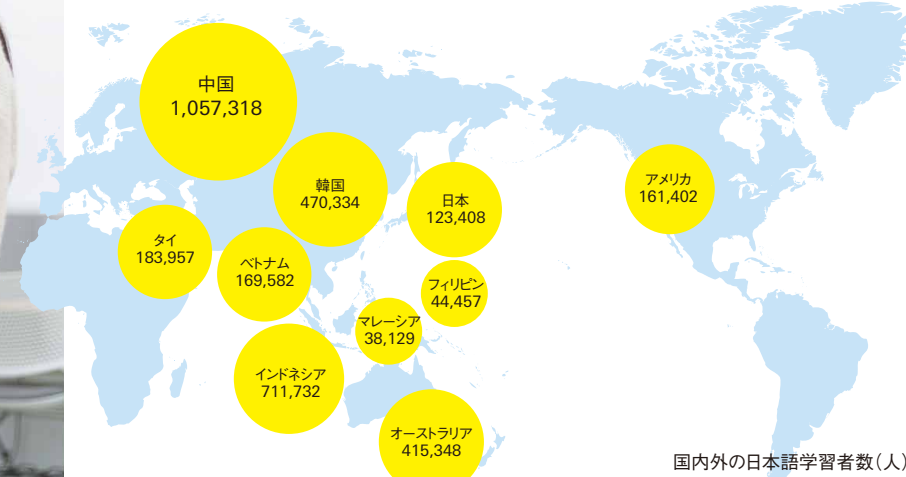
日本語教員とは、日本語を母語としない人に日本語教育を行う教員のことです。「外国語としての日本語」に関する専門的な知識と技術を身につけることが求められます。

日本国内では、近年のグローバル化の進展や少子高齢化の影響により、外国人材の活躍を期待しています。しかし、日本語を母語としない外国人にとって、日本語を使って勉強をしたり、仕事をしたりすることはそう簡単なことではありません。日本語学校や学校教育の現場での日本語教員はもちろん、一般企業でも注目されつつあります。

海外では、日本語や日本のポップカルチャーへの関心の高まりから、アジア諸国を中心に日本語学習者が増加しています。

今後ますます多くの日本語教員が必要とされます。

世界142の国や地域で約338万人が日本語を学んでいます



(資料)文化庁「令和3年度国内の日本語教育の概要」
国際交流基金「2021年度海外日本語教育機関調査結果概要」

多様な学習環境

ディスカッションが可能なアクティブラーニングルームでは、いつでも自由にグループワークに取り組みます。ワールドプラザでは豊富な情報資源をベースとしつつ、快適な学習空間を整備することにより多様な学習ニーズに応えています。



アクティブラーニングルーム



ワールドプラザ



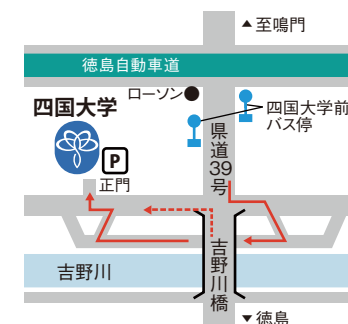
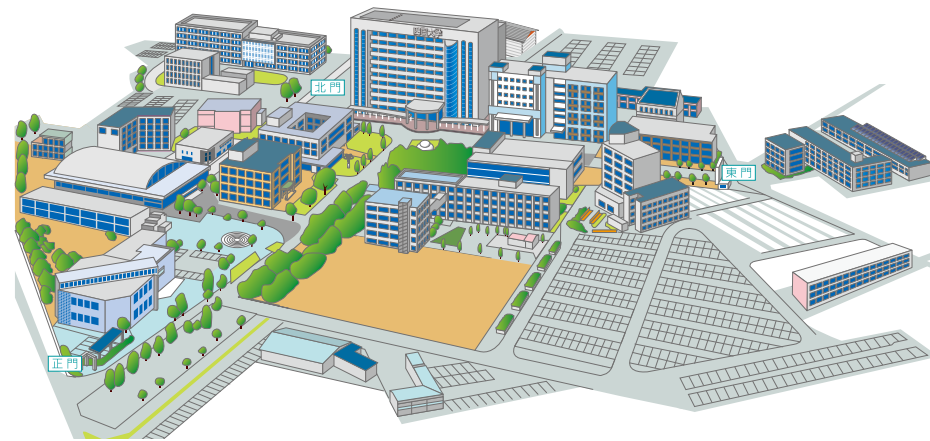
NEW

留学生スタディールーム



NEW

グローバルコミュニケーション演習室



JR徳島駅西「四国大学交流プラザ」からスクールバス(約10分:無料)

人が集まる「人」をつくる、大学。



〒771-1192
徳島県徳島市応神町古川戎子野123-1
TEL 088-665-1300
FAX 088-665-8037
https://www.shikoku-u.ac.jp

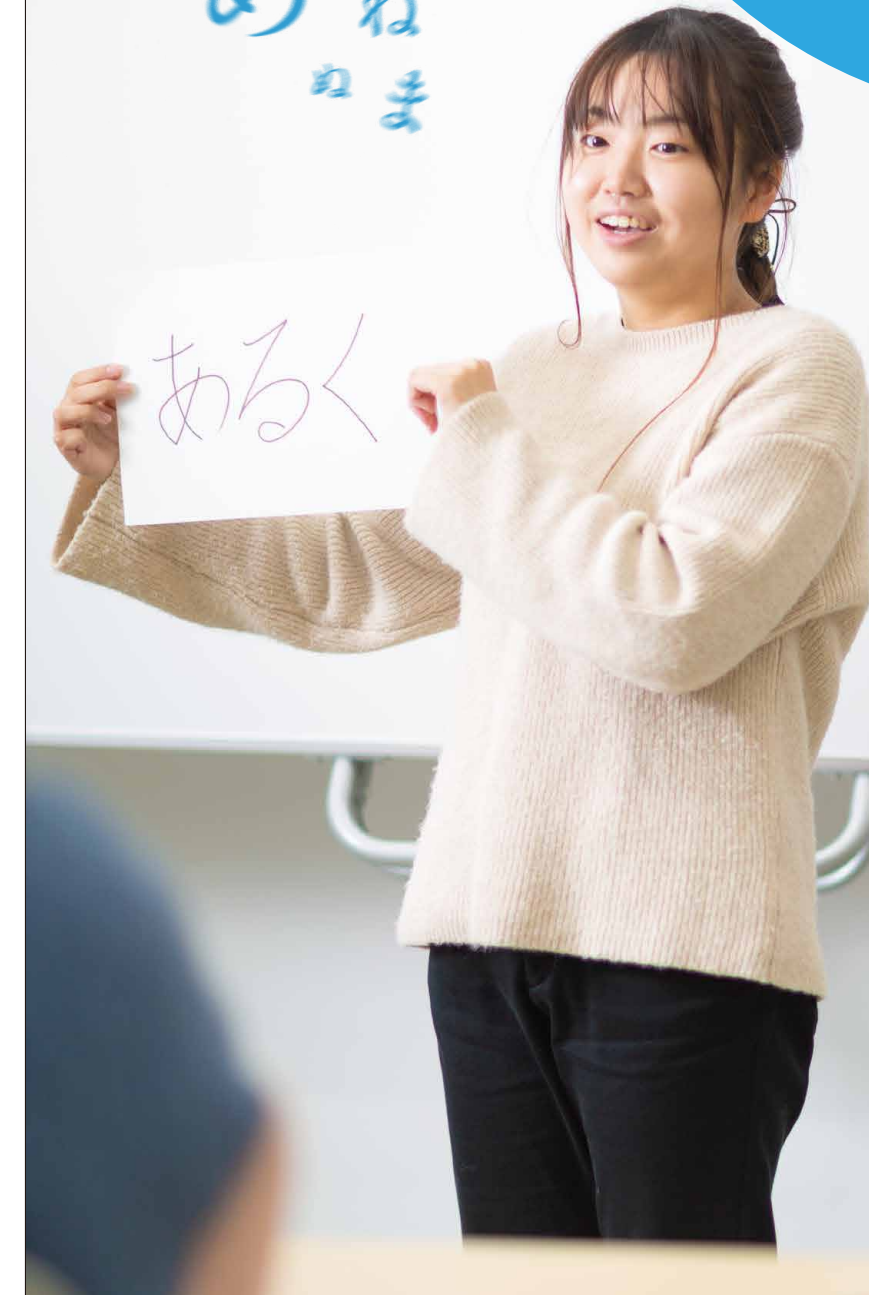
資料請求は

四国大学 広報課
☎ 0120-65-9906 FAX 088-665-9907
https://www.shikoku-u.ac.jp/request

文学部

日本文学科・書道文化学科・国際文化学科で
専門科目を学びながら「日本語教師」を目指す!

日本語教員
養成課程



充実した
カリキュラムと
質の高い授業

快適な施設と
グローバルな環境

手厚い
支援サポート
体制



日本文化に精通した
日本語教育のプロを目指す！

日本文学科

日本文学科での学び

日本文学科では日本の言語・文学・歴史・文化について幅広く学習することができます。2年次からは日本文学コースと日本文化史コースに分かれ、より深く学べるのが大きな特色です。日本の文化に対する世界的な関心が高まっている昨今、日本の伝統文化のみならず、漫画・アニメ・ゲームなどのポップカルチャーが大きな注目を集めています。日本文学科では、日本の伝統的な文化や文学から、ポップカルチャーを含む現代文化に至るまでの、学生の多様な関心領域や問題意識に対応できる授業態勢が整っています。

こんな人にオススメ

日本の文化に対する幅広い視野と知識をもった日本語教員の需要はますます高まっています。日本の文学・歴史・文化について幅広く知り、日本語についての確かな知識と豊かな感性を身につけたい方には、日本文学科で学びながら日本語教員を目指すことをおすすめします。



英語力と異文化知識を活かして
海外で活躍できる！

国際文化学科

国際文化学科での学び

国際文化学科には、ネイティブスピーカーによる実用英語のレッスンなど様々な英語の授業があります。この中で英語の技能を身につけることはもちろんのこと、英語と比較して日本語や日本文化を客観的に振り返る機会も得ることができます。また、欧米やアジアに関する授業があり、国外の多様な文化も学んでいくことができます。さらに留学の支援も行っており、留学先では日本語や日本文化を紹介する機会があります。

こんな人にオススメ

日本国内のみならず国外でも日本語教員の活躍の場は広がってきています。国際文化学科では、実践的な英語のスキルと欧米・アジアの社会、歴史、文化の知識を身につけた、海外で活躍できる日本語教員を目指すことができます。



書道文化学科

書道文化学科での学び

書道文化学科では、書に関する基礎的な科目に加え、「デザイン書道」や、「水墨画法」「書と工芸」など書表現の幅を広げる科目も充実しており、国内外多方面でその実力が認められている方に直接指導を受けることができます。また、書を理論的・教育的にとらえるための科目では、書から学びを広げ、深めながら、その背景にあるものを探ることで、歴史・文化・言語・教育・地域・哲学などあらゆる分野へもアプローチします。

さらに、海外に目を向けた科目「グローバル書道」では、書道文化を世界に広げるノウハウを学ぶことができます。

こんな人にオススメ

就職や留学のためだけでなく、日本文化への興味関心から日本語を学ぶ外国人も増えています。伝統的な書道文化に加え、あらたな書道文化を創造することで、教育や観光などに生かしたいと考えている方は、書道文化学科で学びながら日本語教師を目指すことをおすすめします。

「書」の知識と技能が、
「日本語教師」の武器になる！

充実した学びを可能にするカリキュラム

日本語教員養成課程のカリキュラムは、日本語教員に求められている「社会・文化」「教育」「言語」の3領域の専門的な知識の獲得のために、日本語教員養成課程科目、学科専門科目、全学共通科目、教職科目の4つの科目群から成り立っています。4年次には「日本語教育実習」を行い、理論はもとより多様なニーズに対応できる実践力を兼ね備えた質の高い日本語教員の養成を目指します。



日本語教員養成課程(主専攻45単位以上)カリキュラム ※抜粋

	1年次	2年次	3年次	4年次
日本語教員養成課程科目	日本語教育学概論	言語学概論 日本語教育文法論 日本語音声学・音韻論	日本語の表記と語彙 異文化間教育論 第二言語習得論 日本語教育方法論 日本語教授法	社会言語学・語用論 日本語教授法演習 日本語教育実践
文学部共通		ことば・文化・人間		
日本文学科	近現代文学史 基礎日本語I(国語表現法含む) 基礎日本語学II(音声言語含む)	基礎講読近現代文学 日本文学概説 日本語史 日本文法論 アナウンス・朗読法	日本語研究 国語科指導法I 国語科指導法II	
専門科目	書道概論 基礎日本語I(国語表現法含む) 基礎日本語学II(音声言語含む) 日本文学概説	デザイン書道 近現代文学史 日本語史 日本文法論	国語科指導法I 国語科指導法II	グローバル書道
国際文化学科	国際文化入門 アメリカ文化論	英米文学入門 英語学入門 国際ボランティア・国際平和論 イギリス文化論 アジア文化論	小学校英語教育 英語教育I(英語科指導法) 英語教育II(英語科指導法)	
全学共通科目	社会人基礎力入門 自己と社会・地域論 心理学入門 多文化共生入門 中国語I 韓国語I	日本の歴史と思想 現代の新たな文化 フランス文化と言語 ドイツ文化と言語 英語コミュニケーション		
教職科目			教育心理学	

上記カリキュラムから必修科目、選択科目の合計45単位以上を修得すると、
「日本語教員養成課程修了証」が四国大学から授与されます

グローバル感覚を磨くキャンパスと 支援サポート

四国大学はアジア諸国やアメリカを中心に世界各国から来ている留学生が学んでいるグローバル・キャンパスです。日本語教育スチューデント・アシスタント(SA)制度を利用して、留学生へ日本語学習サポートを行いながら、国際感覚と実践力を磨くことができます。

日本語教員養成課程では、日本語教育を専門とする教員が知識および実践力の習得を目指して指導します。また、日本国際教育支援協会(JEES)が実施している「日本語教育能力検定試験」の対策サポートも行います。



キャンパスライフを彩る 個性豊かな講師陣。

日本語教員は
学習者に寄り添い、
言葉を引き出す、
学習者の支援者。



元木 佳江 准教授 Motoki Yoshie

●日本語教員としての歴史は長く、30年前に徳島に日本語学校が開校して以来、その間50数か国の方と出会えました。
●「めだかの兄弟」をみんなで歌った時、「大きくなってスズメはスズメ」の部分で泣き出した学習者がいました。アイデンティティの狭間で心が揺れ動いた瞬間でした。
●主な担当科目/「日本語教育方法論」「日本語教授法演習」

学習者が多様で、
教員自身の
世界が広がります。



城本 春佳 講師 Shiromoto Haruka

日本語教員になって世界で活躍したいと思ったのは中学生の時。大学院生の時はドイツに留学し、地域の方に日本語を教えたり、大学生に漢字を教えたりする授業を担当しました。
「〜と」「〜たら」「〜れば」の使い分けなど、初級の学習者から不意に出る質問に、いかにわかりやすく答えられるか、今でも苦労しています。

●主な担当科目/「日本語教授法」「日本語教育実践」

世界中どこでも
日本語を学びたい
人がいるところが
日本語教員の
仕事場。



峪口 有香子 講師 Sakoguchi Yukako

●学部時代に国際交流基金のインターンシップに参加し、韓国とタイの学校で教育実習を行ったとき、日本語教育に興味を持ちました。
●日本語を教えることで、様々な国の学生さんに出会えます。彼らの「わからない、できない」を「わかった、できた」に変えることがうれしく思っています。
●主な担当科目/「日本語音声学・音韻論」「日本語の表記と語彙」

日本語や日本文化
に対して新たに
気づかされる
経験ができます。



富山 晴仁 准教授 Tomiyama Haruhito

●姉妹校のサギノーバラー州立大学で、交換教授として日本語を教えた時、日本の漫画や神道についての彼らの関心の高さや知識の深さに驚き、うれしく思いました。
●国際文化学科で英語学を専門にし、英語と日本語の比較なども行っています。無意識に使っている日本語の「日本語らしさ」にあらためて気づくことがあります。
●主な担当科目/「言語学概論」「第二言語習得論」